



(題字 時澤 貢 学長)

第433号  
(平成13年 1月号)

1月のトピックス

◇ 20～21日 平成13年度大学入試センター試験を実施



◇ 23～27日 時澤学長がラオスを訪問



◇ 31日 第2回運営諮問会議を開催



△ (上段左) 早朝の正門風景 (上段右) 入場を待つ受験生 (経済学部前) (下段左) カムターン・チャンタラーラオス教育省副大臣 (右) と握手する時澤学長 (下段右) 事務局大会議室で開催された運営諮問会議

## 目 次

年 頭 挨 拶 .....	3	◆ 教育学部が富山県教育委員会との連絡協議 会を開催 .....	8
関 係 法 令 .....	4	◆ 学生の就職活動を支援する各種ガイダンス を開催 .....	8
諸 会 議 .....	4	◆ 教育学部がFD講演会を開催 .....	9
学 事		◆ 事務職員啓発セミナーを開催 .....	10
◆ 平成13年度大学入試センター試験を実施 .....	5	◆ 時澤学長一行がラオスを訪問 .....	10
◆ 第2回富山大学運営諮問会議を開催 .....	6	◆ 表彰 .....	11
◆ 学位取得 .....	6	◆ 海外渡航者 .....	11
人 事 異 動 .....	7	職 員 消 息	
		◆ 住所変更 .....	12
学 内 諸 報		◆ 新任者住所 .....	12
◆ 大学教育改革特別講演会を連続開催 .....	7	主 要 行 事 .....	12

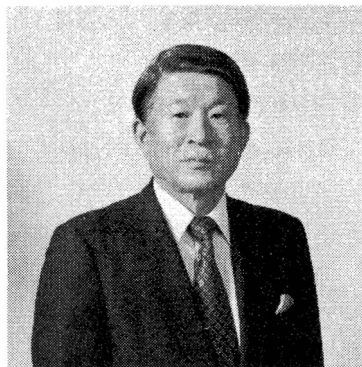
年

頭

挨拶

拶

富山大学長 時 澤 貢



平成13年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

いよいよ21世紀の幕開けとなる歴史的な年が始まりました。

こうした節目の年にあたり、富山大学は、昨年来数々の大学改革に取り組み、一層の推進に努めてまいりました。開学50周年を契機に、富山大学の5つの基本理念と基本目標を制定し、地域連携のスローガンとして「富山の文化を世界に 豊かな科学技術で環日本海未来創造を」を掲げました。そして、新しい文明のフロンティアを開くべき施策として、環境・経済・社会開発を目指す「極東地域研究センター」や新産業・新技術創出の萌芽ともなるべき人材育成のためのサテライト・ベンチャービジネス・ラボラトリーが、平成13年度に設置されることになりました。さらに、キャンパス環境整備としては、昨年来の懸案であった理工学系大学院棟の増築が決定する

など大変忙しい年でありました。

ここに、多くの大学構成員の皆様や地域の各界各層の皆様からご賛同を賜りましたことに深く感謝の意を表します。今後も、21世紀の新生富山大学が個性に輝く大学となるよう邁進したいと考えています。

いま、国立大学は大きな変革の時を迎えようとしています。ご承知のように、独立行政法人化の動きで大学はどのように変わるのか、独法化した場合に大学運営で生じる変化は何か、あらゆる視点から検討されています。要約すれば、「各大学には、それぞれの使命や役割を自主的に検討し、目標・企画を提示することが求められており、その説明責任は大学に属する」という基本原則があります。国民の税金にその活動の基礎を置いている国立大学は、大学の生命である自主、自律に力を尽くし、その活動を国民から評価していただくという、今までにない総合的な観点から対応するよう、大学の識見が問われています。

富山大学は、これまで国立大学という立場から産業経済界や教育界に人材を送り出し地域に貢献してきました。これからも、地域になくなくてはならない大学として共に生き、発展する中で、21世紀に相応しい個性を創っていきたいと考えています。

富山大学の構成員の皆様のご理解とご協力をお願いし、新春のご挨拶とします。



▲ 仕事始めの会（1月4日事務局大会議室）



## 関 係 法 令

### (省 令)

- 日本体育・学校健康センター法施行規則の一部を改正する省令（文部科学18）（平成13.1.25 官報第3041号）

### (規 則)

- 人事管理文書の保存期間（人事院1-34）（平成13.1.19 官報号外第9号）
- 人事院規則9-30(特殊勤務手当)の一部を改正する人事院規則（同9-30-41）（平成13.1.25 官報第3041号）

## 諸 会 議

### 第10回富山大学の将来計画に関する検討特別委員会

（1月11日）

#### （審議事項）

- (1) 中・長期計画の検討について

### 第9回事務協議会（1月18日）

#### （協議事項）

- (1) 事務組織改編後における改善案について

### 第11回部局長会議（1月19日）

#### （審議事項）

- (1) 教員人事の活性化の方策について

### 第8回富山大学の在り方に関する検討特別委員会

（1月12日）

#### （審議事項）

- (1) 学部の教育研究の問題点について（教育学部）

### 第14回評議会（1月19日）

#### （審議事項）

- (1) 極東地域研究センターの設置準備について
- (2) 中期目標・中期計画について
- (3) 学長候補者選挙管理委員会の設置について
- (4) 敷地の一部売り払いについて

### 第3回情報委員会（1月12日）

#### （審議事項）

- (1) マルチメディア・コミュニケーションセンター構想について
- (2) 情報倫理のガイドラインについて

### 第8回国立大学の設置形態に関する検討特別委員会

（1月26日）

#### （審議事項）

- (1) 富山大学の中期目標・中期計画（案）について

### 第7回国立大学の設置形態に関する検討特別委員会

（1月12日）

#### （審議事項）

- (1) 「国立大学の法人化について（東京大学国立大学制度研究会）」の検討について

### 第9回富山大学の在り方に関する検討特別委員会

（1月26日）

#### （審議事項）

- (1) 学部の教育研究の問題点について（経済学部）

### 第5回施設整備委員会（1月17日）

- (1) 敷地の一部売り払いについて
- (2) 施設利用規程について
- (3) 講義室等の冷房化について

### 第4回学生相談連絡会議（1月31日）

#### （審議事項）

- (1) 学生相談要項（案）について

学

事

## 平成13年度大学入試センター試験を実施 － 本学試験場の受験対象者数は4,067人 －

平成13年度大学入学者選抜大学入試センター試験が1月20日(土)、21日(日)の二日間にわたり全国一斉に実施されました。共通第一次学力試験から衣替えして12回目となった同試験の志願者は全国で590,892人で、18歳人口が減少する中で私立大学の利用が増加したことなどにより昨年より8,934人の増となりました。富山県内の志願者は6年ぶりに増加し、昨年より224人多い5,817人でした。

試験当日、富山県内では、本学をはじめとして富山医科薬科大学、富山県立大学、高岡法科大学及び富山国際大学の5大学が分担して試験を実施し、本学試験場では4,067人の受験者が各学部5試験場に分かれて受験しました。両日とも雪害による交通機関の遅滞等もなく予定どおり試験が実施されました。

なお、本学及び全国の受験状況は次のとおりです。



▲ 試験開始を待つ受験生（経済学部試験場）

### 平成13年度大学入試センター試験受験状況

期 日	教科・科目	富山大学試験場			全 国		
		志願者数	受験者数	受験率	志願者数	受験者数	受験率
1 月20日 (土)	外 国 語	4,067人	3,915人	96.3%	590,892人	535,925人	90.7%
	地 理 歴 史	4,067	3,437	84.5	590,892	399,684	67.6
	数 学 ①	4,067	3,487	85.7	590,892	401,204	67.9
	数 学 ②	4,067	3,311	81.4	590,892	350,789	59.4
1 月21日 (日)	国 語	4,067	3,842	94.5	590,892	510,150	86.3
	理 科 ①	4,067	3,125	76.8	590,892	326,865	55.3
	理 科 ②	4,067	1,857	45.7	590,892	222,572	37.7
	公 民	4,067	2,203	54.2	590,892	235,775	39.9

## 第 2 回富山大学運営諮問会議を開催

1月31日(水)、石坂誠一会長(富山国際大学長)、中尾哲雄副会長(富山経済同友会代表幹事)、阿部謹也委員(共立女子大学長)、井上孝美委員(放送大学学園理事長)、山田圭蔵委員(北陸経済連合会会長)ら9名の出席を得て、2回目の富山大学運営諮問会議が事務局大会議室で開催されました。

会議では、時澤学長の挨拶の後、大学側から極東地域研究センターやサテライト・ベンチャービジネス・ラボラトリーの新設など平成12年度補正予算措置状況及び平成13年度予算内示の概要などを報告しました。

次いで、時澤学長が「地域のニーズに応え、教育研究の成果を積極的に発信する国際的な競争力のある大学を目指したい。大学の理念を具体化するため、13年度から5年間で取り組む中期目標・中期計画(案)をまとめたので、忌憚のない意見をお願いしたい」と諮問しました。

諮問を受け、各委員からは、「教養教育重視には賛同。英語や情報などのスキル教育を推進して欲しい」、「中期

計画策定は全国に先駆けるもので評価できる」、「計画には富大独自の売り物を入れるべき」など具体的な助言・評価がありました。

これらの提言は、今後、大学運営の改善事項として、具体化していく必要があります。



▲ 運営諮問会議で挨拶する時澤学長

## 学 位 取 得

所属・職・氏名 工学部 助手 中 茂樹  
 学 位 の 種 類 博士(工学)九州大学  
 所 得 年 月 日 平成12年10月23日  
 学 位 論 文 名 二層型有機エレクトロルミネッセンス素子における動作機構の研究

### 論 文 の 要 旨

本論文では、トリフェニルアミン誘導体とアルミキノリノール錯体からなる二層型有機エレクトロルミネッセンス(EL)素子における動作機構の検討を行った。その結果、有機/金属界面の電子注入過程、陰極電極が発光特性に及ぼす影響、および構成材料の移動度が電気的特性に与える影響について明らかにした。二層型有機EL素子において、リチウム、カルシウム、マグネシウムといった低仕事関数金属を含むアルミニウム合金およびマグネシウム、アルミニウムを陰極として用いた有機EL素子において、陰極材料の仕事関数が低くなるに従い、電流密度-印加電圧特性は低電圧側へシフトし、合金中に含まれる低仕事関数金属が電子注入を担っていることを明らかにした。アルミキノリノール錯体単層構造における明らかな温度依存性から、電荷注入過程はショットキー注



入によることを明らかにした。また、有機EL素子の電氣的・光学的特性がマグネシウム、アルミニウム、銅陰極の仕事関数に影響されること、および発光層の膜厚に影響されることに注目し、この特性変化から、十分な電子注入が行われない状態において、従来トリフェニルアミン誘導体/アルミキノリノール錯体界面で起こるとされていた再結合がアルミキノリノール錯体膜内部に広く分布する可能性を示した。有機EL構成材料のキャリア移動度を Time-of-flight 法により測定し、二層型素子においてホール輸送材料のホール移動度が電気的特性に与える影響は小さく、アルミキノリノール錯体の低い電子移動度に支配されていることを明らかにした。

# 人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
昇 任	13. 1. 1	竹島勢都子	経理部契約室	経理部契約室契約第四係主任
	"	奥村 譲	助教授人文学部 (言語文化学科英米言語文化講座)	教 授 人文学部 (言語文化学科英米言語文化講座)
転 任	13. 1. 1	竹田 充輝	国立立山少年自然の家庶務課会計係会計主任	総務部人事課職員係主任
退 職	12. 12. 20	松井 輝代	臨時用務員 (教育学部炊婦)	平成12年12月19日限り退職
	"	堰免 芳子	" ( " )	"
	"	仲谷千鶴子	" ( " )	"
	12. 12. 23	山口智恵美	人文学部・理学部教務第二係	平成12年12月22日限り任期満了により退職
育児休業	12. 12. 23	中村 良恵	人文学部・理学部教務第二係	職務復帰

# 学 内 諸 報

## 大学教育改革特別講演会を連続開催

1月10日(水)に、絹川正吉国際基督教大学長を講師に招いて、大学教育改革特別講演会が黒田講堂で開催されました。

この講演会は、教養教育の抜本的な見直しを進められている中で、教育改革推進の一助とするため企画したものです。

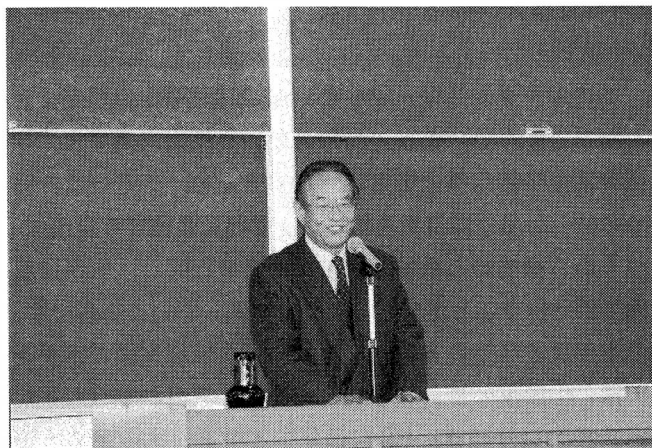
絹川学長は、「日本の大学の教養教育」と題して講演

し、学生が多様化した今、大学は教育のプロとして、GPA、FD、学生の授業評価などを駆使し、学生に付加価値を付けて送り出さなければ未来はないこと、学生に自己教育能力を身につけさせ、倫理観を育成することが教養教育の目標であることなどを、国際基督教大、立命館大などの事例を交え、熱心に説明されました。

会場には教職員約150名が出席、熱心に聞き入り、講



▲ 講演する絹川学長



▲ 講演する中嶋学長

演終了後も熱心な質疑応答が行われるなど、有意義な講演会となりました。

続いて、翌週の1月16日（火）には、中嶋嶺雄東京外国語大学長（国大協副会長）を講師に招き、特別講演会が経済学部講義室で開催されました。

中嶋学長は、「国際社会の変動と大学における語学教育」と題して講演し、社会、経済、文化の地球的規模で

の交流が進む中、大学は国際コミュニケーションができる人を養成しなければならない。そのためには、英語を学ぶのではなく、英語で学ばなければならないと強調されました。

会場では、出席した教職員約100人が熱心に耳を傾け、講演終了後も質疑応答が行われるなど有意義な講演会となりました。

## 教育学部が富山県教育委員会との連絡協議会を開催

教育学部は、1月16日（火）に附属養護学校日常生活訓練施設「ゆうゆう館」会議室において、富山県教育委員会との連絡協議会を開催しました。

県教育委員会からは、教育次長、県総合教育センター所長をはじめ6人が、教育学部からは学部長、評議員をはじめ8人が出席しました。

協議会では、①現職教員の再教育、②教員採用、③学校教育相談実践業務に係る連携、④教育実習などを課題として、その問題点と対応等について約2時間にわたり、活発な話し合いが行われました。

最後に、地域の教育の発展と教育水準の向上等をはかるため、双方の共通理解のもと、より一層の連携協力を推進することが確認され、閉会しました。



▲ ゆうゆう館で行われた連絡協議会

## 学生の就職活動を支援する各種ガイダンスを開催

本学では、学生の就職支援活動の一環として、主として現3年生を対象に、7月から各学部及び就職委員会・学生部において、各種の就職支援ガイダンスを開催しています。

このガイダンスは、平成9年度から就職協定が廃止されたことに伴い、企業の採用活動の早期化、長期化、採用方法の多様化等の動きに対応するため、あるいは、昨今の厳しい雇用環境を理解させ、就職を希望する学生に、早くから職業観と目的意識を持たせると共に、円滑に就職活動を行うことができるよう開催しているものです。

本年度の全学の3年生を対象とした就職支援ガイダンスは、①国家公務員採用試験の概要と任用制度（人事院担当官、11月15日）、②自己分析と企業研究の進め方等（（株）リクルート、11月15日）、③就職適性相談会（11

月15日）、④国家公務員採用試験省庁別説明会（6機関、12月25日）、⑤今からの就職活動（（株）ディスコ、1月



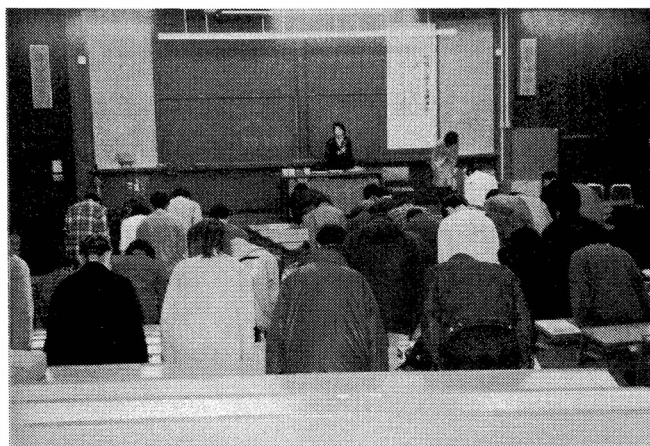
▲ 国家公務員採用試験省庁別説明会（12月25日）



17日) ⑥自分らしさを伝える出発点にたつために((株)NTTダイナミックテレマ, 1月17日), 更に女子学生を対象とした, ⑦雇用均等室はあなたの就職活動を応援します(富山労働局, 1月24日), ⑧就職活動のためのセンスアップのポイント((株)ナリス化粧品, 1月24日)が開催されています。各種ガイダンスは模擬面接をはじめ礼儀作法や化粧など身だしなみの実演コーナーを含めて開催され, 各ガイダンスには最大300人を超える学生が参加し, 今年度に続き, 厳しい就職戦線が予想されることから, 講師の話にメモを取るなど真剣に聞き入り, 時間を越えて個別質問や相談が行われました。

また, 就職活動中の現4年生を対象として, 本年初めて「企業説明会」が12月21日(木)に本学学生会館で開催さ

れ, 参加した学生は, 就職内定を得るラストチャンスとして真剣に企業の説明に聞き入っていました。



▲ 自分らしさを伝える出発点にたつために(1月17日)

## 教育学部がFD講演会を開催

1月17日(水), 教育学部では, 教員の授業改善に資するため, 『大学の授業を変える16章』(大月書店)で知られる浅野誠中京大学教授を招いて, FD講演会を同学部大会議室で開催しました。

講演では, 「大学の授業で一般的な講義形式は, 実は, 学会のような共通の知的関心が共有されている者の間で初めて成立する極めて高度な授業形式なのだが, 大半の大学教師はそれに気付かないでやっている。もっと学生の現実にかみ合った授業を工夫する必要がある。」と指摘されました。その後, 授業づくりの「戦略」と授業改善のポイントについて話され, 後半は, 参加者からの, 発問・課題設定, 説明・提示, 作業, グループ活動, 討論, 学生の授業参加などの方法についての悩みや疑問に答えながら, いろいろなスタイルの討論をワークショップ形式で体験させていただきました。

約30名の参加でしたが, 参加者のノリが非常に良く, あっという間に3時間近くが経過してしまいました。



▲ 講演終了後行われたワークショップ

## 事務職員啓発セミナー（第3回）を開催

1月26日（金）、事務系職員を対象とした平成12年度事務職員啓発セミナー（第3回）が黒田講堂で開催されました。

このセミナーは、事務職員として大学を取り巻く現状を把握し、これからの大学運営等に役立てるとともに、行政的識見を涵養し意識の高揚を図るため、毎回テーマを変えて開催されているものです。

約80名が参加した今回のセミナーでは、榊原英夫経済学部教授が「企業会計について」と題して1時間半余の講義を行いました。

講義では、独立行政法人の意義及び独立行政法人会計制度の説明があり、特に「複式簿記」と「発生主義」の考え方について事例を交え詳細な解説が行われました。また、財務諸表の体系、独立行政法人の財務報告の目的、企業会計原則との相違、会計基準の位置付けについても概要説明がありました。

講義後には、今後の国立大学の独立行政法人化を視野に入れ熱心な質疑応答が行われました。次回は、「大学の経営について」をテーマとした小幡忠夫富山国際大学事務部長の講義が予定されています。



▲ 「企業会計について」講義する榊原教授

## 時澤学長一行がラオスを訪問

時澤学長は、昨年5月に本学を訪問された駐日ラオス大使 トンサイ・ボーディサン閣下の招待を受け、このたびラオスを訪問しました。

1月24日(木)にはラオス国立大学を訪問し、ボセンカム・ウォンダラー同大学学長と、今後の両大学の学術交流を推進するための活発な意見交換を行いました。

翌25日(木)には、今後の両国間の科学・文化の友好親善の実をあげるため、ラオス教育省のカムターン・チャントラー副大臣を表敬訪問し、親しく懇談しました。



▲ ボセンカム・ウォンダラーラオス国立大学長（右）と握手する時澤学長

## 表

「第44回日本学生科学賞」（主催：全日本科学教育振興委員会，読売新聞社，後援：文部科学省，環境省）において，本学教育学部附属中学校第3学年の若林祐介君が，「4本足のチョウの研究ージャノメチョウ科ー」で学校賞1位を受賞しました。

若林君は，昨年度の中央審査においても入選1等に輝いていますが，今年はさらに上位の学校賞1位の入賞となりました。継続研究の成果と中央審査への2年連続の出品が認められての受賞といえます。このすばらしい快挙に，附属中学校としても今後の生徒の励みになると大いに喜んでいます。

## 「受賞の喜び」 若林 祐介

1月の22日（月）に，新宿の京王プラザホテルで行われた日本学生科学賞の中央表彰式に出席してきました。今年の式は，昨年とは違った形式だったためか印象強く，有意義な表彰式だったと思います。また，今年は入賞だったので，実際に前に出て受賞することができました。

秋篠宮殿下ご夫妻の前での表彰のため，はじめはとて

## 彰

も緊張しましたが，賞状を受け取るときの喜びで，その緊張感もいつの間にか吹き飛んでいました。

中学校3年間を通して，チョウの研究を続けてきましたが，継続し根気強く取り組むことの大切さを知りました。この経験を，これからの高校生活でも活かして行きたいと思います。



▲ 賞状を手にする若林祐介君

## 海 外 渡 航 者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張		学 長	時 澤 貢	ラ オ ス	ラオス国立大学と富山大学との学術交流を推進するための情報交換，意見交換	13. 1. 23 ～ 13. 1. 28
	工 学 部	教 授	升 方 勝 己	ラ オ ス	ラオス国立大学と富山大学との学術交流を推進するための情報交換，意見交換	13. 1. 23 ～ 13. 1. 28
	学 生 部	学 生 部 生 長	嶽 釜 康 雄	ラ オ ス	ラオス国立大学と富山大学との学術交流を推進するための情報交換，意見交換	13. 1. 23 ～ 13. 1. 28
	教育学部	助教授	徳 橋 曜	フ ラ ン ス ベ イ タ リ ー	極小国家の「国家的アイデンティティ」の社会的・経済的・文化的基盤に関する研究のための現地調査	13. 1. 28 ～ 13. 2. 19
	教育学部	教 授	佐 藤 幸 男	マ ル タ	極小国家の国際政治学的な存在理由の学術調査研究	13. 1. 30 ～ 13. 3. 31

## 職 員 消 息

## 《住所変更》

部 局	職	氏 名
人 文 学 部	文部科学教官 (助教授)	佐々木 重 洋
理 学 部	文部科学教官 (教 授)	川 崎 一 朗

## 《新任者住所》

部 局	職	氏 名
教 育 学 部	文部科学教官 (教 諭)	山 田 智 子
教 育 学 部	臨時用務員	青 木 佳 龍

## 主 要 行 事

## 本 部

- 1 月 4 日 辞令交付  
学長挨拶  
事務局連絡会
- 7 ～ 10 日 在来生合宿研修（志賀高原ブナ平スキー場）
- 9 日 第25回運営会議  
授業開始
- 10 日 大学教育改革特別講演会  
演題；日本の大学の教養教育  
ーリベラル・アーツの誤解ー  
講師；絹川正吉国際基督教大学長
- 11 日 会計係長会議  
第10回富山大学の将来計画に関する検討特別委員会
- 12 日 第 8 回富山大学の在り方に関する検討特別委員会  
第 5 回己点検評価委員会研究活動専門委員会  
第 3 回情報委員会

- 大学入試センター試験監督者説明会  
第 7 回国立大学の設置形態に関する検討特別委員会
- 15 日 事務局連絡会  
英会話研修閉講式
- 16 日 第26回運営会議  
大学教育改革特別講演会  
演題；国際社会の変動と大学における語学教育  
講師；中嶋嶺雄東京外国語大学長  
第 5 回大学教育委員会教務専門委員会
- 17 日 第14回セクシュアル・ハラスメント等対応委員会  
第 5 回施設整備委員会  
文部省共済組合富山大学支部職員採用候補者選考試験  
第14回教養教育検討特別委員会  
就職講演会
- 18 日 第 9 回事務協議会



- 19日 第11回部局長会議  
第14回評議会  
第7回自己点検評価委員会管理運営専門委員会
- 20～21日 平成13年度大学入学者選抜大学入試センター試験
- 22日 事務局連絡会  
第1回大学開放事業（夢大学 in TOYAMA）実施調整委員会
- 24日 国立学校事務情報化基幹要員研修（～2/2 国立オリンピック記念青少年総合センター）  
事務協議会事務局ホームページ専門委員会  
情報関連事務集中化検討会  
産業雇用連絡協議会（ポルファート富山）  
就職講演会
- 25日 第3回国際交流会館運営委員会
- 26日 事務職員啓発セミナー  
第8回国立大学の設置形態に関する検討特別委員会  
第9回富山大学の在り方に関する検討特別委員会  
第10回学生生活委員会  
富山県インターンシップ運営委員会（富山第一ホテル）
- 29日 事務局連絡会  
一般選抜(前期・後期日程)願書受付（～2/6）
- 30日 第27回運営会議
- 31日 第2回運営諮問会議  
情報関連事務集中化検討会  
第15回教養教育検討特別委員会  
第4回学生相談連絡会議

## 人 文 学 部

- 1月10日 教授会（人事）  
教授会
- 16日 学部情報処理委員会
- 17日 推薦入学試験  
学部自己点検評価委員会  
学部教務委員会  
学部図書委員会  
学部将来計画委員会  
研究科小委員会
- 18日 学部学生生活委員会・就職指導委員会（持ち

- 回り）
- 24日 教授会（人事）  
教授会
- 26日 学部教務委員会（持ち回り）
- 31日 就職に関する説明会  
学部将来計画委員会  
学部広報委員会

## 教 育 学 部

- 1月9日 教育方法（FD）推進検討委員会  
附属小学校、中学校及び養護学校第3学期始業式
- 10日 教授会  
人事教授会  
附属幼稚園第3学期始業式
- 11日 附属養護学校第2次募集願書受付
- 11～17日 附属小学校及び中学校入学願書受付
- 15日 学部紀要編集委員会
- 16日 富山県教育委員会との富山大学教育学部との連絡協議会  
附属養護学校第2次募集入学者選考
- 17日 FD講演会  
附属養護学校第2次募集合格発表
- 19日 『教育学部及び附属学校園共同研究プロジェクト運営委員会』及び『「総合的な学習の時間」に関する教育運営協議会』との合同会議
- 22日 学部学生生活委員会
- 23日 学部教務委員会
- 24日 人事教授会
- 25日 平成13年度附属小学校入学者発育検査
- 28日 平成13年度附属中学校入学者第1次選考（学力検査）
- 31日 学部国際交流委員会  
附属小学校第2次選考（抽選）

## 経 済 学 部

- 1月5日 学部自己点検評価委員会  
人事基本問題検討委員会
- 9日 学部教務委員会
- 10日 人事教授会  
教授会
- 17日 学部自己点検評価委員会

就職指導委員会

生涯学習・広報委員会（持ち回り）

24日 学部入学試験委員会

教授会

26日 学部国際交流委員会

30日 後学期末試験（～2/2）

## 附属図書館

1 月 25 日 平成12年度国立大学附属図書館事務部長会議  
（徳島大学）

## 保健管理センター

1 月 25 日 第 1 回自己点検評価委員会

## 地域共同研究センター

1 月 12 日 大学院生教育講座「超小型薄肉押出し成形技術の開発」

## 生涯学習教育研究センター

1 月 22 日 第 3 回公開講座専門委員会

## 総合情報処理センター

1 月 9 日 第 5 回運営委員会

## 留学生センター

1 月 18 日 第 1 回自己点検評価委員会  
第 4 回運営委員会

## 水素同位体科学研究センター

1 月 11 日 第 5 回運営委員会（人事に関する運営委員会）  
26 日 放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律第22条に基づく教育訓練

## 理 学 部

1 月 6 日 国立 4 大学（北信越地区）理学部長懇談会  
（新潟大学）

10日 理工学研究科博士前期課程理学部会

教授会

人事教授会

理学部長候補者選挙管理委員会

11日 学部教務委員会

17日 理学部長候補者選挙管理委員会

学部広報委員会

理工学研究科博士後期課程部会

24日 理工学研究科博士前期課程理学部会教育委員会

30日 学科長会議

## 工 学 部

1 月 9 日 学部運営委員会

教務委員会

10日 教授会

専任教授会

理工学研究科博士前期課程工学部会

11日 安全委員会

17日 理工学研究科博士後期課程部会

23日 学部運営委員会

教務委員会

24日 教授会

専任教授会

理工学研究科博士前期課程工学部会

工学研究科博士後期課程委員会

編 集 富山大学総務部企画室 〒930-8555富山市五福3190 TEL. (076) 445-6029 FAX. (076) 445-6033

印刷所 あけぼの企画㈱ 〒930-0031富山市住吉町1-5-8 TEL. (076) 424-1755 FAX. (076) 423-8899